

【プログラム】

(受付開始12:20～)

≪10月30日(木)≫

12:50～12:55 【開会挨拶】

五十嵐靖之 (北海道大学大学院先端生命科学研究院)

12:55～13:35 【国内招待講演 L-1】

皮膚脂質代謝の新機軸

村上 誠 (東京都医学総合研究所)

13:35～13:50 【一般講演 O-1】

抗体や毒素を用いたスフィンゴ糖脂質に富む膜マイクロドメインの構造と機能解析について

○岩渕和久^{1,2}・玉木友樹¹・増田浩美¹・中山仁志^{1,3}・石井久美子⁴・小林俊秀⁴

(¹ 順天堂大学大学院医学研究科環境医学研究所・² 同医療看護研究科感染制御看護学分野・³ 同医療看護学部・⁴ 理研脂質生物学)

13:50～14:05 【一般講演 O-2】

ヒト好中球における CD14 依存性 LPS シグナルはラクトシルセラミドのマイクロドメインにより仲介される

○中山仁志^{1,2}・玉木友樹²・ルーティチミチ イキヤロンゴ ホ ラウエル²・岩渕和久^{1,2}

(¹ 順天堂大学医療看護学部・² 順天堂大学大学院医学研究科環境医学研究所)

14:05～14:20 【一般講演 O-3】

親水性相互作用クロマトグラフィーを用いた LC/MS/MS によるグルコース化脂質の異性体定量

○中嶋和紀・秋山央子・田中香織・平林義雄

(理研・脳科学総合研究センター・神経膜機能研究チーム)

14:20～14:35 【一般講演 O-4】

スフィンゴミエリンの代謝変動を介したマスト細胞の脱顆粒反応の抑制

○真鍋祐樹¹・平田孝^{1,2}・菅原達也¹ (¹ 京都大院農・² 四条啜学園大)

14:35～14:50 【一般講演 O-5】

若年性肥満群血清におけるセラミド及びスフィンゴミエリン分子種の解析

○花松久寿¹・大西俊介²・酒井祥太¹・湯山耕平¹・光武進³・五十嵐靖之¹

(¹ 北海道大学大学院先端生命科学研究院・² 北海道大学大学院医学研究科・³ 佐賀大学農学部)

14:50～15:05 【一般講演 O-6】

パイナップル果実由来グルコシルセラミドが乾燥肌モデルマウスの免疫系に及ぼす影響

○桑田崇志¹・栗原浩誠²・大戸信明²・橋本堂史¹・水野雅史¹

(¹ 神戸大学大学院農学研究科・² 丸善製薬株式会社)

15:05～15:20 【一般講演 O-7】

天然グルコシルセラミドからの誘導と有機合成によるスフィンゴイド塩基及びセラミドの効率的生産

○松本恵実・藤野和孝・牧岡富広・中塚進一（長良サイエンス株式会社）

（休憩・施設見学）

16:00～17:00 【海外招待講演 S-1】

THE BRAIN AND SKIN, WHAT DO THEY HAVE IN COMMON? HYDROXY SPHINGOLIPIDS

Hiroko Hama (Jeneil Biotech Inc., USA)

17:00～18:00 【海外招待講演 S-2】

The metabolism of glucosylceramide in relation to health and disease

Johannes M. Aerts (Academic Medical Center, Amsterdam, The Netherlands)

18:00～20:00 【情報交換会】

≪10月31日(金)≫

9:30～9:40 【総会】

9:40～9:50 【第5回 JSC Award表彰式】

【Young Investigator Award 表彰式】

9:50～10:30 【第4回 JSC Award受賞講演】

私の歩んだ道:一皮膚科医のスフィンゴ脂質研究

濱中すみ子（理化学研究所脳科学総合研究センター）

10:30～11:10 【国内招待講演 L-2】

皮膚のかゆみの発生機序と制御—特に、アトピー性皮膚炎に関して—

富永光俊（順天堂大学大学院医学研究科環境医学研究所）

11:10～11:25 【一般講演 O-8】

こんにゃく芋由来セラミドの神経突起伸張阻害活性

○臼杵靖剛¹・田村具博²・田村範子²・向井克之³・五十嵐靖之¹

(¹北海道大学先端生命科学研究院・²産業技術総合研究所生物プロセス研究部門・

³ユニチカ中央研究所)

11:25～11:40 【一般講演 O-9】

ヒト3次元培養表皮角化モデルにおけるIL-4誘導角層セラミド減少に対するロシグリタゾンの回復効果

○吉田直岐¹・芋川玄爾² (1)株池田模範堂・2中部大学・生物機能開発研究所)

11:40～11:55 【一般講演 O-10】

アトピー性皮膚炎患者(AD)における疑似セラミドのバリア機能及び炎症改善効果

○石田耕一¹・高橋昭彦¹・尾藤宏達¹・辻村久¹・芋川玄爾²

(1)花王(株)研究所・2中部大学・生物機能開発研究所)

(昼 食)

13:00～13:15 【一般講演 O-11】

食餌性グルコシルセラミドの抗腫瘍効果

○矢間敬章¹・藤原和典¹・北野博也¹・岡崎俊朗² (1)鳥取大学医学部・2金沢医科大学)

13:15～13:30 【一般講演 O-12】

麹菌のグルコシルセラミドは酵母に移行して膜・発酵特性の変化を引き起こす

北垣浩志^{1,2}・阿部文快³・○花田賢太郎⁴

(1)佐賀大学・2鹿児島大学・3青山学院大学・4国立感染症研究所)

13:30～13:45 【一般講演 O-13】

タモギダケセラミドの経口摂取によるヒト介入皮膚評価

○鈴木健¹・関口博太^{2,3}・酒井祥太⁴・高橋環奈^{1,5}・林田茂^{1,5}・須藤慶太^{2,3}・勝又亨祥⁶・五十嵐靖之⁴ (1)日生バイオ株式会社・2株式会社エルエスコポーレーション・3株式会社ライフサイエンス研究所・4北海道大学先端生命科学研究院・5NPO法人遺伝子栄養学研究所・6株式会社エクサム)

13:45～14:00 【一般講演 O-14】

長鎖塩基の吸収と代謝の分子メカニズム

近藤菜月・成田智美・大野祐介・永沼達郎・○木原章雄 (北海道大学薬学研究院)

14:00～14:40 【国内招待講演 L-3】

C24 極長鎖脂肪酸の生理機能と病態への関与

佐々貴之 (北海道大学 大学院薬学研究院)

14:40～15:20 【国内招待講演 L-4】

牛乳由来スフィンゴミエリン濃縮物の皮膚表皮機能改善効果

加藤 健 (雪印メグミルク株式会社)

15:20～15:25 【閉会挨拶】

大西正男 (藤女子大学人間生活学部食物栄養学科)